

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第3 1節

vs. ギラヴァンツ北九州戦

9/13 19:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表■第30節
勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

| | | | | | | | |
|----|------|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 1 | 大宮 | 68p | +36 | 55 | 19 | H● | A● |
| 2 | 磐田 | 54p | +13 | 46 | 33 | AO | HO |
| 3 | C大阪 | 51p | +18 | 44 | 26 | H● | A● |
| 4 | 東京V | 49p | +11 | 37 | 26 | A● | H● |
| 5 | 福岡 | 48p | +4 | 37 | 33 | AΔ | |
| 6 | 愛媛 | 47p | +1 | 32 | 31 | HO | |
| 7 | 千葉 | 46p | +10 | 39 | 29 | A● | |
| 8 | 長崎 | 44p | +9 | 30 | 21 | HO | |
| 9 | 金沢 | 43p | +9 | 34 | 25 | H● | AΔ |
| 10 | 北九州 | 40p | -5 | 36 | 41 | A● | |
| 11 | 群馬 | 39p | -10 | 26 | 36 | HΔ | AO |
| 12 | 札幌 | 38p | +1 | 29 | 28 | H● | |
| 13 | 徳島 | 37p | -4 | 26 | 30 | A● | |
| 14 | 讃岐 | 37p | -4 | 20 | 24 | HO | |
| 15 | 熊本 | 36p | -6 | 29 | 35 | AO | H● |
| 16 | 岡山 | 35p | -2 | 28 | 30 | A● | |
| 17 | 横浜FC | 35p | -21 | 25 | 46 | A● | H● |
| 18 | 京都 | 33p | -8 | 35 | 43 | HΔ | |
| 19 | 水戸 | 31p | -5 | 28 | 33 | HΔ | |
| 20 | 栃木 | 30p | -12 | 27 | 39 | H● | AO |
| 21 | 岐阜 | 29p | -25 | 28 | 53 | --- | --- |
| 22 | 大分 | 26p | -10 | 28 | 38 | A● | |

次回HomeGame

第32節 vs.大分トリニータ
9/20(日) 16:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場


本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ギラヴァンツ北九州

2014 J2 18勝11分13敗 勝ち点65: 5位

| 直近の対決と結果 | |
|-------------|-------------|
| 2015/05/03 | J2 - 11節@本城 |
| 北九州 2-1 岐阜 | |
| へニキ scored. | |

| ここ3試合の公式戦の結果 | | |
|--------------|-----------------------------|--|
| FC岐阜 | | ギラヴァンツ北九州 |
| 2015/09/06 | 天皇杯2回戦@フクアリ 千葉 1-0 岐阜 | 2015/09/05 天皇杯2回戦@Ksスタ 水戸 2-1 北九州 |
| 2015/08/30 | 天皇杯1回戦@メドウ 岐阜 2(延長)-1 関西学院大 | 2015/08/29 天皇杯1回戦@本城 北九州 2-1 J.FC MIYAZAKI |
| 2015/08/26 | J2 -27節@正田スタ 群馬 0-1 岐阜 | 2015/08/23 J2 -30節@本城 北九州 2-2 水戸 |

●1ヶ月以上も期間があき、久しぶりのホーム戦となった今節。前回のホーム戦、8/8(土)第28節・熊本戦では、得点チャンスを作りながらも決められず、FKを直接決められた失点だけで0-1の悔しい敗戦となった。続く8/15(土)第29節・セレッソ大阪とのアウェイゲームも、試合序盤のPKで失点したものの、その後の守備陣は踏ん張ってC大阪の攻撃を跳ね返していた。だが決定機を生かせずに、しかも0-1での敗戦。3試合連続無得点という結果になってしまった。しかし、続くアウェイ2連戦では危機感を持った選手たちが、しっかりと結果を出してくれた。8/23(日)第30節・アウェイ栃木戦では、激しいボールの奪い合いとなった展開でも選手たちが最後まで戦い抜き、ゴールを死守しての1-0。見事に3試合振りとなる勝利を手に入れることができた。そして続く中2日での(雷により中止された8/1(土)第27節の代替試合となった)8/26(水)アウェイ群馬戦でも、しっかりと守りきって1-0での勝利。アウェイ連戦を連勝という最高の結果を残すことができた。しかも2戦とも無失点での勝利、守備が安定してきた成果と言えるだろう。2戦連続で(磐田戦も入れれば4ゴール連続で)オウンゴールという珍しい記録も付いてきたが、それも岐阜が敵陣ゴール前に迫っているという証。どんな形でも1点だし、勝利は勝ち点3だ。今は結果が欲しい時期、この連勝は本当に大きい。これで岐阜は再び最下位を脱出し、現在は21位。勝ち点3差に19位(水戸)、6差に17位(横浜FC)が射程に入っており、降格圏脱出も夢ではないが、最下位(大分)も勝ち点差3であり、最下位への再転落の危険性も充分にある。今シーズンのJ2残留争いは例年以上に混沌としており、まだまだ予断を許さない状況が続くそうだが、だからこそ、目の前の1試合に集中して、結果を出していくことが本当に重要だ。

本日の対戦相手は現在10位のギラヴァンツ北九州。今シーズンも主力選手が流出したが、柱谷幸一監督3年目体制の中でチーム力を維持して、プレーオフ出場が狙える位置だ。FC岐阜との通算対戦成績は4勝1分6敗、12得点16失点だが、ホーム戦では3勝1分1敗7得点5失点と相性が良い相手だ。しかし、今シーズンも5/3(日)第11節・アウェイでは1-2で敗れている。このホーム戦では勝利してリベンジを果たしたいところだ。その北九州の最も警戒すべき選手は、現在9得点を挙げてチーム得点王の#25FW小松聖だろう。前回の対戦でも決勝点を挙げられており、今節は無失点で抑えるよう守備陣の奮闘に期待したい。その中でも#18SB富士祐樹と#34CB渡邊将基は、昨年まで北九州に在籍していた選手。必ずや完封に貢献してくれるだろう。攻撃陣も、今節は(オウンゴールではなく)ゴールをホームで見せて欲しい。特に#24FW難波宏明は惜しい場面はあるものの、9試合得点から遠ざかっている。今節こそはゴールを挙げて勝利に貢献し、「難波劇場」でスタジアムを沸かせて欲しい。また、岐阜の#39風間宏矢と北九州の#7風間宏希は、風間八宏・川崎F監督の息子たち(岐阜の宏矢が弟)だ。2人とも中盤の選手で、兄弟対決に普段以上に燃えているだろうが、宏矢の活躍に注目したい。全42試合を戦う2015年J2リーグも残り12試合、3分の1を切った。第95回天皇杯に関しては、8/30(日)1回戦・関西学院大学には勝利したものの、9/6(日)2回戦・千葉には惜しくも敗れているFC岐阜。敗戦は残念だが、これで残りのリーグ戦に専念することができる。夏の移籍期間も終わり、岐阜も多くの戦力補強を行った。今シーズンを戦いきる準備は整えた。さあ、ここから岐阜の反撃を見せる時だ。まずは1ヶ月振りのホーム戦を勝利して、今季初の(リーグ戦)3連勝を達成しよう。そのためにも、僕らサポーターは最後までチームの勝利のために、拍手を声援を送ろう。きっと選手たちは、僕らの気持ちに結果で応えてくれるはずだ。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@
hotmail.co.jp

【第28節】岐阜 0-1 熊本

●8月8日は立秋だったか。某クラブにも秋風が吹き込んできたような試合。前節までの上位相手にできたことが、勝てないまでもやりきれたことが、順位の近い相手にできない。何が何でも、勝ち点3が必要な試合。しかも、ホームの長良川。決して、出来のよいワケではない相手に、この内容、この結果。いや、順位通りというべきか（苦笑）。

先制されてから攻勢に出たってダメなんだって。キャプテンだけだったなあ、戦ってるように見えたのは。そんなネガティブな感想しか出てこないのはボクの目が淀んでいるせいなのかもしれない。実際、録画で見直してみると惜しい場面も作っていたような気がしないでもない。出場した選手は、みんながんばってる。でも、結果は熊本の思い通りにされた。そんな気がしてならない。

交替で出てきた選手に多くの期待をかけられないのは仕方ない。ウチの現状では、それが仕様。けど、難波を下げたのはなぜ？ソコは不可解としか言いようがない。難波の体調がよくなかったのだろうか？それとも、どこか傷んだのだろうか？負けてる状況で前を増やす。それならわかる。でも、FW同士の交替が上位互換とは、とてもとても……。そして、そんな僕の評価を覆してくればイイのに、そういう期待にはなかなか応えてもらえないね。この期に及んで、こういう試合を見せられると「残留圏内」なんてゼイタクな望みって気がしてきた。「入れ替え戦狙い」。もう、目標を一つに絞るしかないような重苦しい気分になってしまう。なぜ、今日使わなかったかわからないジウシーニョが入って、故障中のレオが戻ってきて、劇的に好転するのを待つより他はないのか。それでは、寂しすぎるよね。

移籍ウィンドウも閉じて、FC岐阜史上最高のメンツ揃えて、アノ2011年に戻ったみたいなお試合。そんな感じの、残念な、とても残念なお試合だったよ。ただ、このまま静かに終戦に向かうしかないのか？と問われれば、答えは否。少なくとも、あがくに足る時間も、残り試合もまだまだある。とにかく、ボクらにできるのは選手を鼓舞すること。もう一度、ここから這い上がろう！（ぐん、）

●試合が終わってから、熊本サポさんと呑む機会があった。今季の岐阜 vs 熊本は互いにアウェーで勝利するという結果で終わったけれど、「この長良川での試合は大勢の熊本サポさんに見てもらいたかったなあ……」と思ったし、彼にもそう伝えた。

岐阜が2-0で勝った磐田戦と同様の、強い風。岐阜は前半が風下で後半が風上、というところも同じ。しかし、熊本の戦い方は磐田とは違って。前半のうちにリードしたということもあるだろうけど、小野監督はキッチリと『1-0で勝つ』というプランを選手に課し、選手はそれを忠実に実行した。岐阜からしたらスコア以上の完敗。昨季そして今季と岐阜サポがあまり目にするのが出来ない「試合をクローズさせる」という部分において、とてもとても参考になる熊本の試合運びだった。これを、磐田の名波監督、岐阜のラモス監督、熊本の小野監督の『監督』としての資質の違い、と言い切っちゃうのは、ちょっと乱暴だろうか。（吉田铸造）

【第29節】C大阪 1-0 岐阜

●結果として負けたので満足はしていません。もちろん、元J1に善戦したとも思いません。思いたくもない。だいたい、大阪は以前にもJ2にいたし（笑）。まあ、それを言うなら、今季は半分が元J1経験者ですね、このディビジョン。もっと言えば、J1も3分の2が元J2だし。

でも、金鳥スタジアムはいいスタジアムでした。屋根はないけど、駅から近いし、やっぱり専スタ、球技場なのはうらや

ましい。ただ、スタグルの串カツはいけませんね。串カツと言えば大阪。その本場でこんな出していいのか？この辺りはウチの圧勝です。いや、話が大幅にそれました（苦笑）。ただ、0-1という結果は腑に落ちます。納得です。よく、最少失点に留めたなと思います。今季のザルっぷりを考えれば余計に。もったいないPKでしたが、その前のハンドを見逃してもらってます。併せて一本、でしょうか。ただ、アノ場面で後ろから手が出るのは残念過ぎる。玉田がウチの選手を2~3人釣り出して、空いたスペースを突かれた。裏を取られて焦る気持ちはわかるし、あれで笛を吹かないでよ、とも思うけど、今季は手を使う行為を厳しく取り締まって？いますよね。もう、終盤なんだから、そこはきっちり押さえてほしいな、と。いかにも残念です。あとは定番のフレーズ。決定機の精度、ですね。後半開始早々のコーヤ。終盤の高地。録画を見直したら、他にもそれなりのチャンスは作っていた。だからこそ、枠にいつてれば……。シュートできてさえいれば……。もう、ず〜っと、この繰り返しなんですけどね。それが順位に現れています。でも、やれることはやった。そう思います。

レオも使えた。ジウシーニョもまずまず。特指の翼は、今までの岐阜にはいないタイプ。そんな香りがしました。ほっといたら、どこかのJクラブに抜かれる可能性大です。なんとか、キープしてください。

ともかくにも、8月の残り二試合が今後を大きく左右することは間違いない。文字通り正念場。ベストを尽くしましょう、それぞれが。（ぐん、）

【第30節】栃木 0-1 岐阜

●おひさしぶりです、倉田さん！お元気そうで何よりです。先日、スカパー！のJリーグ・マッチデーハイライトでの勝利監督インタビューを拝見しました。倉田節は相変わらず健在でしたね。それにしても、ヒゲなんか生やしちゃってるし、いささか貫禄がついたような（笑）学年が同じなんで（もちろん、学校は違うけど）、これからも陰ながら応援します。がんばりましょうね、お互いに。

さて、ようやく、待ちに待った連敗脱出。喉から手が出るほど欲しかったという慣用句がはまりすぎるほどの勝ち点3。しかし、OWN・ゴールだけで3点。そして二勝とか、いったいどんな珍記録ですか。もしかしたら、ギネスにも申請できるんじゃないか（苦笑）。ま、それはそれ。内容としては、前半早々から、ずっと栃木のターン。あわやの場面をなんとかしのぐ一方で、またまた「前節できたことがこの試合はできない」モード。一試合おきか？スカパー！で観戦しながらヒヤヒヤしどおし。胃が痛むような時間が続きましたが、そんな中でコーヤのクロス一閃！それが相手DFの焦りを誘ってのOWN・ゴール。鮮やかなクロスでした。でも、相手が触らなきゃ、その奥にいたナンちゃんが軽く合わせて今季の13点目を決めるのは間違いなかった。アノ位置にいる。まさに難波の真骨頂。さすがです。逆にいえば、難波がアノ位置にいたから、栃木DFはダイビング・ヘッドでのクリアを試みた。技ありですね。

とにかく、大事なものは結果。何がなんでも勝ち点3。だから、今は相手のミスでも誤審でも、結果が出ればそれでいい。まあ、一人くらいいてもいいでしょ？こんなあからさまなサポが（苦笑）しかも、栃木は残留を争っている相手。負けていれば、勝ち点差は10。勝ち点6くらいの意味がある大きな一勝、本当に。これで、水曜日の群馬戦の価値、期待感がいっそう高まったことは事実。群馬は今、首位の大宮と引き分けるくらいの絶好調な状況らしいけど、家長がいなかった大宮だからね（震え声）。現地参戦ができないのは残念すぎるけど、スカパー！で観戦しながら応援します。もちろん、レプユニ、タオマフ、キャップを身にまとして応援しますよ！（ぐん、）

●日曜のナイトゲームかつ遠方アウェイとはいえ、20位・栃木との試合は“勝たなければならない戦い”。しかも栃木には、就任したばかりの倉田安治監督、選手でも#7菅和範と#9西川優大と、元・FC岐阜の人間がいる。勝利への意識は更なる強くなる中での試合だった。

試合は、両チームともロングボール主体の戦術に。雨で濡れたピッチのためかな？と最初は思ってたんだけど、芝がポロポロになってるんですね…(汗)。夏場なのに昔からグリスタってこんなに酷かったかしら？…そして、この荒れたピッチに慣れている栃木の方が優位(苦笑)に。セカンドボールを制するのは栃木の方が多く、何度かピンチを迎えるけれど、#22 GK常澤聡の好セーブなどもあり、選手たちは身体を張ってゴールを守り、前半は無失点に抑えることが出来た。そして後半、#39風間宏矢のシュート性のクロスがゴール前に入り、得点を決めたのは…またしてもオウンゴール！？(苦笑)いやまあしかし、相手のゴール前で競り合っているからオウンゴールが入るのだし、あのシーンでも相手DFが触らなかったら、その裏にフリーで走り込んでいた#24難波がゴールを決めていただろうから、岐阜の得点なのは全く問題ないんだ！…と格好いいこと言いましたが、本音は「綺麗なシュートでも泥くさく身体ごとボールを押し込んでオウンゴールでも、1点は1点や！」っていうヤツです(苦笑)。

この1点を守りきって、“ウノ・ゼロ”で3試合振りの勝利！激しいぶつかり合いの多かった試合でも、最後まで気持ちを切らさないで戦い抜いた選手たちに賞賛と感謝の拍手を送った後に、「オウンゴールの1点でも、勝ちば勝ちや！」と僕は独り叫んでいたことを申し添えます(苦笑)。なお、今節だけでも判りませんが、グリスタにはPET飲料は売っていない&ハーフタイムにはスタグルが売り切れる&工場地帯なので周囲には店舗なんてない、と「アウェイの洗礼」を受けましたが、勝ったので全く問題ありません(笑)。

ともあれ、この勝利は大きな勝ち点3。順位はまだ最下位のままだけれど、21位・大分に勝ち点で並ぶことができた。このまま勝ち点を積み重ねて、残留争いを脱出してほしい。頼むよ！(ささたく)

【第27節(延期分)】群馬0-1岐阜

●8/1(土)に開催予定だった試合が雷のため中止され、代替で用意された水曜のアウェイ戦。まあ次週と次々週は天皇杯だからリーグ戦に影響しないし、早いとこ試合数を同じにしたいだろうから、Jリーグの判断は理解できる。ただ、中2日という過密日程で選手たちも大変だけれど、僕らも中2日しかも水曜に北関東遠征なんて無理じゃん本当勘弁してくれ…と思いつつ、なんとかスタジアムにいましたよ、ええ(苦笑)。だって僕らだけの試合開催。他チームの試合結果に関係なく、勝てば勝ち点3そのまま上位との距離を詰めることができる、ある意味では絶好の機会。2試合連続の北関東アウェイは、2試合とも“勝たなければならない戦い”だった。

しかし、栃木戦から選手たちは岐阜に帰らずに調整したとはいえ、中2日のアウェイしかも雨の中での試合で、両チームとも動きが重かったように感じた。またウチは前節の栃木戦で勝利したものの、#17野垣内俊と#33レオミネイロの2名を累積警告で欠いて、スタメンもシステムも変更していて連携がとれていない隙を突かれていたように見えた。ただしそれも試合序盤のことで、徐々に連携がとれて安定していたような…。

そして、またしても先制はオウンゴールで(苦笑)。よく「ゴール・バー選手が防いだ」とか擬人化して言うけれど、本当に「オウン・ゴール選手」がいるのかと思えるぐらいで(苦笑)。これで岐阜の得点は4点(磐田×2、栃木、群馬)連続でオウンゴールという、ギネス級の記録を達成してしまいました。そしてそのゴールで3試合とも勝ったってのが、また(笑)。

この2試合、個人的なMVPは#22常澤聡。ビッグセーブを連発して、相手の得点機会を阻止してくれた。これで守備が安定してくれば、もっとチームが良くなるかもと思える活躍でした。本当に感謝。リーグ戦も残り3分の1となる大事な時期の、北関東アウェイ連戦を連勝で終えることができた。そして、この連勝で最下位も脱出。そして降格圏脱出も現実的に見えてきた。もちろんまだまだ油断はできないし、最下位に再度転落する可能性だってある。けれど、内容はどうあれ“連勝”という結果がついてきた。これで選手たちが自信を深めて波に乗ってくれば…そう期待してしまうし、それが現実のものになると信じてたい。

(ささたく)

●しかし、7月18日の金沢戦。終了直前の和道の起死回生同点ゴールから一カ月余り。その間6試合戦って、記録した4得点が全てオウン・ゴールって、どうなんだ？(苦笑)天候が味方したのかな？文字通りの恵みの雨ってヤツなのかな？。昼前には雨も上がり、「これなら、それなりのコンディションで試合ができる。」と思ったら、あに凶らんや！めっちゃ、降ってるやん！カンベンしてよ、上州・前橋……。そんな中で始まった順延試合。イーブンの開始直後から、徐々にペースは群馬。危ない場面も数度。その劣勢を跳ね返す、というよりは間隙を縫ったのが高地と砂川のベテラン・コンビのショート・コーナー。タイミングをズラしたクロスはドンピシャで岡根……。の前の入った群馬守備陣のアタマにピンポイント！ありえん、あり得ないだろ？オウン・ゴール四連発。この間までの得点ランク首位と現在もアシスト首位がいて、オウン・ゴールもダントツ一位で、なんでこの順位？どう考えたってあり得ないだろ？でも、事実は小説より奇なり。それを目の当たりにしているワケですね、ボクらは。

群馬は独走大宮とあわやの試合を演じて、ピークを越えたかな？誤解を恐れずに言えば、群馬の戦力で今の順位は信じられないというのが正直な感想。もちろん、言えた義理じゃない。自分のことは棚上げだ(笑)しかし、何度でも繰り返すが、勝ちば勝ち。手にした勝ち点3はホンモノだ。最低限にして最大のミッションを、見事やってのけた選手達にありったけの敬意と感謝を。天皇杯の中断が恨めしいぜ。それでも、これでレオもバンディエラも戻ってくる。そして、泰輔が復帰すれば、現状で考え得るベストの布陣完成。「ヨッシャ〜、まにあったぜ！」そんな感じ。

確かに思うことはある。だが、「つまらない試合をしてゴメンナサイ。」って言うのは監督に任せた。この期に及んで「ツマラナイシアイ」云々は、彼の視座だからこそ。それはそれでよい。そこはブレないでいてください。ただ、ボクにとって「ツマラナイシアイ」だったかどうかはボクがキメる。それもブレない。とりあえず、勝てばツマル。上との差がね(笑)。密やかに近づく実りの秋。冷たいように感じた雨が緑を育み、ここまで来た。緩むことなく、上を目指そう！……と、書いてはみたものの、まだまだピンチだから。崖っぷちだから。次はホーム・長良川連戦。大分との真逆・天王山も待っている。北関東連戦よりも大事な試合。何がなんでも、勝ち抜くこと。ソレが「大事な試合」と言えるようにした、この連勝を生かすための使命なのだった！(ぐん、)

【天皇杯 1 回戦】

岐阜 2(延長)-1 関学大

●岐阜国体開催のためにメモリアルを改修していた 2010 年以来、もう 4 年経つんですね。まさか、再びメドウで（トップチームの）試合を見る日が来ようとは。いや、メドウは大好きなんですよ、僕。“鳴り物” 禁止など応援の制限はあるんだけど、それでもピッチは近いから迫力あるし（メインは）見やすいし、なにより勝率が良い（笑）。小雨が降っていたのは少し残念だったけれど、それでも久しぶりのメドウは楽しめた。

さてスタメンは……これって（主力を温存した）ターンオーバー？それとも（リーグ戦に専念するための）負け抜け？（苦笑）直前の群馬戦と比べて、なんと 9 人もの選手を入れ替えたスタメン…まあ、1 週間で 3 試合目だから出場した選手は疲労回復も追いついていないだろうし、リーグ戦じゃない機会にラモス監督はサブメンバーを試しておきたいだろうし、相手は総理大臣杯を獲ったばかり（つまり大学日本一）の関西学院大学だから負けても“ジャイアントキリング”なんて言われぬよね…なんて思っていました（苦笑）。案の定、大学生たちは走力重視のサッカーで、ガンガン走ってくる。でも、覚悟してたよりは対応できていた。収穫だったのは、（高卒ルーキーの）#32MF 小川雄大が、大学生相手に良いプレーをしていたかな、と。フィジカルも強くなってきたような。

ただ、流石に 90 分間走り回るのはウチの選手たちに不利だったようで、徐々に足が止まってきたところを同点に追いつかれてしまう。すると、延長戦なんて慣れてない J リーガーと慣れてる大学生の差というか、あるいは追いついて勢いに乗った若者の勢いと言うべきか（苦笑）、延長戦では更に苦戦を強いられる。これは PK 戦かも…と思った終了直前に #17SB 野垣内俊が PA 内に切り込んで倒されて PK 獲得。僕の回りでは苦笑が洩れました、だって失点も…（苦笑）。なんとか「ジャイキリ」の大安売りには貢献しないで済んだかな。そうそう、向こうの選手で気になったのは #11 森俊介。3 年生ながら完全に「攻撃の起点」で、昨年のお天杯では V 神戸に決勝点、真の“ジャイキリ”を挙げているらしい。ちょっと注目したい選手でした。（ささたく）

※翌週の 9/6 に行われた 2 回戦ではジェフ千葉と戦い、0-1 で敗れ、3 回戦進出はなりませんでした。（編集人：吉田鑄造）

【ユース】 G1 リーグ、再開！

●我が FC 岐阜ユース U-18（以下 FC 岐阜ユース）が参戦している G1 リーグは夏休みの中断期間が過ぎて、8 月 29 日から再開されました。8 月 29 日は大垣工業戦でした。大垣工業は今年はこちらまで 7 勝 1 分で負けなしで首位を独走しているチームです。前半は 0 対 0 でしたが、後半に先制されたのを巻き返すことが出来ず、0 対 1 で敗戦となりました。

続く 9 月 5 日には関商工との対戦がありました。後半に FC 岐阜ユースの CK からのゴールで先制し、そのままのスコアで終了。嬉しい今季リーグ戦 2 勝目となりました。

この結果、2 勝 3 分 6 敗の勝点 9 で 8 位となりました。7 位、6 位もそんなに勝点差が離れていないので、一戦ずつしっかり戦い、一つでも順位を上げられるように頑張りたいです。昨日 12 日には第 12 節郡上高校戦が行われている筈ですが、結果はどうだったんでしょうか？吉報を待っています。

次の公式戦は 9 月 19 日（土）に開催予定となっている第 13 節の中京高校戦で、笠松の GFC にて 12 時半 KO 予定ですから、良ければ応援・観戦に行ってください。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC 岐阜ユース！！

※試合会場・時間は岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで必ず確認して下さい。（シュナ）

【セカンド】『ジャイキリ』達成！

●岐阜県代表として第 95 回天皇杯本大会に参戦した FC 岐阜 SECOND（以下「セカンド」）は、敷島公園サッカー場（普段、トップチームがリーグ戦で行くのは陸上競技場）で、1 回戦のザスパクサツ群馬戦が行われました。

試合は、前半 11 分に塚本が左から逆サイドに振って正面でフリーになった森がキッチリ決めて岐阜が先制。25 分にも森の FK を GK がこぼしたところに詰めて最後は木田が押し込み追加点、なんと 2 点のリードで前半終了。後半は群馬の猛反撃を受けて 1 点を返され、前後半の合計で 27 本のシュートを浴びたものの、相手シュートがポストに弾かれるなどの幸運もあって、2-1 で見事な勝利。「セカンド」が J チームに勝ったのは初のことです。

天皇杯、ザスパ、群馬敷島サッカー場。思い出す方もいらっしゃるかもしれませんが、FC 岐阜のトップチームがまだ東海リーグ 1 部にいた頃のことです。天皇杯本大会の初出場を決めて、本大会でも大学勢に 2 勝。敷島サッカー場での 3 回戦の相手がザスパ草津（当時）でした。当時のスタッフの方によると、失礼ながら「（ザスパなら）なんとかいけるんじゃないか」といった、楽観的な空気があった…とのこと。結果、前半 5 分だけで 2 ゴールを喰らい、あとは 90 分にわたって『クオリティの差』を見せつけられて J の先輩・ザスパに「胸、貸してやっただぜ」と言われたような 0-3 の完敗。FC 岐阜の内部でも「あの完敗でチームが禪を締めなおした」と、心を新たに J FL 昇格に挑戦する全国地域リーグ決勝大会に向かい、決勝ラウンドではファジアーノ岡山、V・ファーレン長崎を抑えて 2 位に入り、入替戦でホンダロックを倒して全国リーグ昇格を手にしたのです。あれから 9 年。天皇杯、ザスパ、群馬敷島サッカー場。「セカンド」が見事にトップチームの“恩返し”をすることが出来ました。

「セカンド」は翌週の 2 回戦でも徳島ヴォルティスを相手に健闘を見せましたが、後半 40 分に失点し、0-1 で敗退しました。しかし、今大会で地域リーグのチームが J チームに勝利したのは「セカンド」のみ。天皇杯決勝のハーフタイムで発表される、“SURUGA I DREAM Award”、通称『ジャイキリ賞』の有力候補の一つであることは間違いないでしょう。（吉田鑄造）

9/6 現在の、J3 順位表。

自動昇格 1 山口 25 試合 61p +48 71 23 ●申請中

入替戦 2 町田 25 試合 54p +26 37 11 ★保有

3 長野 25 試合 46p +10 27 17 ★保有

4 相模原 25 試合 42p +11 36 25

5 琉球 25 試合 38p +4 33 29 (○申請?)

6 富山 25 試合 34p +3 24 21 ★保有

★：今季 J2 ライセンス保有（おそらく来季も申請）、

●：来季 J2 ライセンス申請中（公表済）、

○：来季 J2 ライセンス申請中（未確認）、

☆：今季 J2 ライセンス保有も来季は申請せず

●上位 6 チームを掲載しました。3 位・長野、4 位・相模原の失速が顕著になり、上位 2 チームは山口・町田でカタマリそうな情勢です。岐阜が大一番の大分戦を迎える 9/20 には、こちらも J3 の天王山・町田 vs 山口の大一番が控えています。ここで山口が勝つと、ほぼリーグの順位が見えてきます。あとは、9 月末に発表予定と言われる「2015 年の J クラブライセンス」公開がヤマとなります。

『岐大通』では FC 岐阜の J2 残留が決まるまで、J3 情報を掲載していきます。（編集人：吉田鑄造）